

2020年 9月14日

課題名：膵頭部癌に対する膵外神経叢郭清が予後に与える影響の検討

◆研究の目的と概要◆

膵頭部癌は膵頭十二指腸切除術という手術方法で切除しますが、癌を全てきれいに取り除くため十分に切除すると、退院後にも激烈的な下痢が続いて普通の生活を送れなくなり、手術後の抗癌剤治療もできなくなってしまいます。当院では、癌を取り残しなくきれいに切除しますが、術後の激烈的な下痢も最小限に抑えるよう、新しく工夫した手術方法を行っておりますが、それが十分に効果的であるかどうかを判断することを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2018年4月から、2025年3月までの間に、膵頭部癌で膵頭十二指腸切除術切除を受けられた方。

◆研究に使用される情報◆

年齢、性別、身長・体重、術前の治療経過、各種画像検査の結果、血液検査の結果、病理組織検査の結果、手術の情報、術後の経過

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）等の情報を利用します。

-
- * 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
 - * 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院

外科 研究責任者 北川 裕久

E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）

（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明